



シクリスムエコーNo.100 2003年8月号

2003年全日本マウンテンバイク選手権大会	2
2003MTB世界選手権・アジア選手権 日本代表選手団	3
2003年トラック世界選手権	6
アジア選手権・アジアジュニア選手権 強化合宿	7
2003年 世界 BMX 選手権	8
登録者の資格審査に係る処分について	9
2003ツール・ド・北海道国際大会 参加チームの決定	9
第35回 ツール・ド・ラビティビ	10
「シクリスムエコー」100号に想う	12
2003年B世界選手権大会	13
競技大会結果	14
2003ジャパンカップ「オープンレース」のお知らせ	15
第15回「ツール・ド・おきなわ2003」のお知らせ	15
アジア選手権・ジュニアアジア選手権速報 / 日本新記録	15

2003 年全日本マウンテンバイク選手権大会
イン石川 / MTB ワールド瀬女

Downhill



男子エリートのチャンピオン大島



女子エリートのチャンピオン末政



男子ジュニアのチャンピオン青柳



男子マスターのチャンピオン三山



[競技結果]

DH男子リート

- 1 大島 礼治 兵庫 MTBmagazine 5:46.63
- 2 竹本 将史 埼玉 プリズト 5:52.79
- 3 高橋 唯之 福島 G Cross 5:54.37
- 4 塚本 岳 埼玉 MX/MONG 5:57.18
- 5 井手川直樹 広島 G Cross 5:58.22
- 6 和田 良平 兵庫 INTENSE j 5:59.79
- 7 内嶋 亮 東京 A&FSANTA 6:00.84
- 8 丸山 弘起 長野 MTBmagazine 6:01.80
- 9 河合 暁延 愛知 mom&pop's 6:03.83
- 10 岩瀬 信彦 埼玉 EX-unlimited 6:05.68

DH男子ジュニア

- 1 青柳修一郎 東京 FORD/SPE 6:36.56
- 2 永田 隼也 神奈川 コ・FR&マッシュ 7:01.40
- 3 河合 将志 愛知 カントリーモーター 7:04.28
- 4 高橋 大 新潟 CREAM UNI 7:15.01
- 5 小山 航 長野 サイクルイン 7:36.60
- 6 山本 茂嗣 愛知 カントリーナッツ 7:45.93
- 7 桜井 孝太 愛知 MOVE 7:58.20
- 8 金田 拓也 長野 サイクルイン 8:04.69
- 9 飯田 隆彦 東京 WING PAW 8:40.43
- 10 山本 達郎 愛知 カントリーナッツ 9:19.74

DH男子マスター

- 1 三山 孝幸 石川 FRS・トデモ 6:32.68
- 2 佐々木善典 岩手 EXTREME 6:37.14
- 3 能島 光明 岡山 ロールアウト親バカ 6:39.45
- 4 伊藤 康喜 東京 刊光・ル 6:41.02
- 5 中沢 政満 新潟 Amigo共和 6:46.06
- 6 池田 隆之 東京 6:46.86
- 7 西村 智彦 大阪 シバド・リンク 6:54.19
- 8 鈴木 正司 神奈川 重力技研 7:00.57
- 9 中山 光治 宮城 SEKI みちの 7:01.82
- 10 西尾 覚 新潟 Amigo Fin's 7:04.36

DH女子

- 1 末政 実緒 兵庫 TREK.VW 6:36.62
- 2 増田 まみ 埼玉 GIANT J. 7:01.96
- 3 猪俣 浩子 神奈川 FOES/CRE 7:33.52
- 4 杉山 美佐 静岡 DD BIKES 9:01.27
- 5 服部 良子 神奈川 風魔横浜 9:34.69
- 6 松田 恵美 東京 MX/MONG 10:06.84
- 7 寿 弥生 岩手 EXTREME 10:15.80
- 8 菅原 亮香 岩手 LAVENDER12:37.51
- 9 大西 雅美 兵庫 YRS-ANC 14:23.38

4X男子

- 1 栗瀬 裕太 大阪 TREK
- 2 向原 健司 大阪 Team KUWAHARA
- 3 猪又 基充 神奈川 DRAGON,SYL
- 4 菊池哲太郎 神奈川 teamGTjapan
- 5 猪俣 康一 神奈川 FOES CREDIT
- 6 小川原圭太 埼玉 CHEETA CREDIT
- 7 相坂信二郎 東京 FORD/SPECIALIZED
- 8 林 正樹 岐阜 サタケ・ズ・クルシット
- 9 金子 真吾 北海道 ORANGE BIKE
- 10 ヲト ヲカ 埼玉 MX/MONGOOSE

4X女子

- 1 末政 実緒 兵庫 TREK.VW
- 2 猪俣 浩子 神奈川 FOES/CREDIT
- 3 大西 雅美 兵庫 Team YRS-ANCHOR

2003マウンテンバイク世界選手権 日本代表選手団

大会期間 平成15年9月4日(木)~7日(日)
 派遣期間 平成15年9月1日(月)~9日(火)
 開催場所 スイス・ルガーノ
 参加選手
 加スカトリ-
 リート 鈴木 雷太(長野)・宇田川聡仁(静岡)
 ジュニア 小野寺 健(北海道)・山本 幸平(北海道)
 女子 南部 博子(福岡)
 ダウンヒル
 リート 大島 礼治(兵庫)・竹本 将史(埼玉)
 ジュニア 青柳修一郎(東京)
 女子 末政 実緒(兵庫)・増田 まみ(埼玉)
 4X 栗瀬 裕太(大阪)・末政 実緒(兵庫)
 スタッフ
 監督 杉山 喜一(MTB小委員会委員)
 メンション 仁木 康夫・白井 三善(連盟強化スタッフ)

2003マウンテンバイクアジア選手権 日本代表選手団

大会期間 平成15年9月16日(火)~21日(日)
 派遣期間 平成15年9月16日(火)~21日(日)
 開催場所 青森・モヤヒルズスキー場
 参加選手
 加スカトリ- 色川 浩樹(茨城)・竹谷 賢二(千葉)
 野口 忍(京都)・山口 孝徳(長野)
 高橋いづみ(東京)・中込由香里(長野)
 南部 博子(福岡)・真下 正美(神奈川)
 ダウンヒル 内嶋 亮(東京)・大島 礼治(兵庫)
 竹本 将史(埼玉)・塚本 岳(埼玉)
 猪俣 浩子(神奈川)・末政 実緒(兵庫)
 増田 まみ(埼玉)
 スタッフ
 監督 杉山 喜一(MTB小委員会委員)
 コーチ 山本 康雄(MTB小委員会委員)
 メンション 仁木 康夫・白井 三善(連盟強化スタッフ)
 マッサージャー 石田 宗男(連盟強化スタッフ)

Cross Country



レース序盤、トップを追う竹谷



2位野口(前)と3位鈴木



泥だらけの中、満面の笑みでフィニッシュラインを越える竹谷



突然の豪雨の中、独走する竹谷

[競技結果]

XC男子U23

1	竹谷 賢二	千葉	FORD/SP	2:15:17.41
2	野口 忍	京都	TREK J.	2:17:48.86
3	鈴木 雷太	長野	ブリヂストン	2:18:09.20
4	宇田川聡仁	長野	ブリヂストン	2:18:56.26
5	大矢 繁	兵庫	フィロ	2:21:49.23
6	笹部 勝	大阪	キャノンデール	2:23:02.07
7	堂城 賢	長野	GARYFIS	2:25:50.15
8	山口 孝徳	長野	MX/MON	2:26:52.63
9	檀 拓磨	長野	JAMIS	2:27:02.41
10	橋田淳一郎	東京	イソ	2:27:07.11

XC男子U23

1	白石 真悟	大阪	汎用バイク	1:37:36.65
2	広瀬 允	千葉	CWS	1:38:28.94
3	宮本 優	千葉	Jamis	1:39:31.47
4	細井 陽介	岡山	DACHS	1:43:49.48
5	森 和規	三重	カコ-自転車	1:45:41.29
6	佐藤あきら	愛知	デモ-ヨ R	1:46:52.20
7	高井 佑介	埼玉		1:49:57.43

8	佐藤航太郎	神奈川	湘南山走会	-1lap
9	山本 聖吾	長野		-1lap
10	市林 拓	大阪	大阪大学MRT	-2laps

XC男子ジュニア

1	小野寺 健	北海道	GASPANIC	1:18:09.41
2	山本 幸平	北海道	キャノンデール	1:18:55.20
3	藤森 大輝	香川	クルーズ	1:24:41.88
4	菅沼 大地	東京		1:26:22.25
5	橋本 龍聖	熊本	DT チェン	1:27:44.31
6	橋本憲太郎	埼玉	CWS	1:28:46.05
7	竹之内 悠	京都	パナソニック	1:29:22.32
8	鈴木龍之介	愛媛	焼鳥山鳥	1:29:56.64
9	今井 雅士	岡山	AMIGO	1:30:14.85
10	日野林昂志朗	愛媛	BSC/上野	1:30:14.85

XC男子マスター

1	佐藤 剛	三重	Verdad	1:22:05.60
2	澤田 泰征	東京	転倒虫	1:23:21.87
3	新井 孝典	神奈川	HOT STAFF	1:23:57.98

4	赤塚 剛司	三重	Mt.Hase	1:24:10.38
5	丹蔵 智治	滋賀	ストラーク	1:24:31.29
6	佐宗 広明	福島	西相模狂走	1:24:43.68
7	中馬 高嶺	大阪	Bumps	1:25:49.25
8	大音 雅裕	大阪	Bumps	1:25:58.07
9	河西 稔	山梨	Tie-up	1:26:39.70
10	三井 寿展	宮崎	KONA-Q	1:27:20.19

XC女子

1	中込由香里	長野	SY-Nak	1:57:39.74
2	真下 正美	神奈川	SY-Nak	1:59:58.24
3	高橋いつみ	東京	SY-Nak	2:01:22.48
4	榎本 梨絵	岡山	Be-One	2:04:25.64
5	田崎 綾	千葉		2:07:59.16
6	狩俣けい子	大阪	デモ-ヨ R	2:08:20.33
7	深井 薫	大阪	GARY FI	2:08:57.93
8	酒井 真清	大阪	TestachR	2:10:24.29
9	山口麻理子	福井	BALBA R.	-1
10	内田 順子	東京	SY-Nak	-1



女子のチャンピオン中込



U23のチャンピオン白石



ジュニアの覇者、小野寺



バンクでまさかのリタイアとなった女子の南部



マスターの周回遅れをかわす
ジュニアの先頭グループ



マスターの覇者、佐藤

2003年トラック世界選手権



ドイツ・シュツットガルトの室内ボード・トラック(1周285.7m、最大斜度42度)で行われた今年の世界選手権。高速トラックとの前評判通り、スピードという面では、これこそ世界選手権と思わせるレースが数多く見られた。特に、4km団体追抜で驚異的な世界新記録(3分57秒185)を樹立して優勝したオーストラリアチームの走りや、スプリント男子決勝で対戦したガネ(フランス)とダイカ(オーストラリア)の高速バトルには、改めて、スピードこそ自転車競技の本質でありかつ醍醐味であることを強く感じさせられた。

今大会総勢11名の選手団で闘いに臨んだ日本だったが、全体の成績は満足のいくものでなかったのは誰の目から見ても明らかだろう。しかし、個々のレースを振り返ってみると、順位という結果
驚異の世界新で優勝した団抜豪州チーム



とは別に、それぞれに見るべき点があったことだけは挙げておきたい。

まずケイリン男子出場の山田裕仁(最終成績6位)。山田は、日本で唯一世界のケイリンを知っている選手だと思ふ。決勝メンバーかと思ふばかりの顔ぶれとなった準決勝2組目。山田が前走2車の仕掛けにのって決勝進出を決めた最

終バックからの捲くり追い込み(3着)は、彼の競技レベルが世界の強豪に引けをとらないことを証明している。また、500mタイムトライアル出場の大菅小百合の成績に終わった。しかし、大きな大



ケイリン6位の山田

会ごとに日本記録を更新し続ける彼女の潜在能力にはまだ開発の余地が残されている。今大会の走りから推しても世界のトップレベルである34秒台に届くのはそう遠い日ではないように思える。そして、スプリント男子出場の金子貴志(最終成績8位)もともとあったスピードとレース勘の良さに加え、今年の金子はパワーの部分で着実な進化を遂げている。それが自信となり、スプリンターとしての総合能力を引き上げ、この世界選手権でもベスト8まで勝ち上がる大きな要因になったと推測できる。今の金子はレースの勝ち負け以前に、成長する自分を楽しむ余裕と、ある種の明るさをもっている。

チーム成績からすれば、この2・3年、日本は確実に力をつけている。ワールドカップクラスなら表彰台に立つこと

もそう珍しいことではなくなった。オリンピックという最大目標ができたおかげで世界に対する意識は向上し、肉体も強化された。しかし今はまだ、それはチーム全体がレベルアップしたことを意味するのではなく、部分的に個人能力が開発され成長したに過ぎない。言わば始まりの状態だ。そのことを今回の世界選手権は証明した。(伴)

[競技結果]

1kmタイムトライアル			
1	NIMKE Stefan	GER	1:01.225
2	KELLY Shane	AUS	1:01.356
3	TOURNANT Arnaud	FRA	1:01.644
18	荒井 崇博	JPN	1:04.331
スプリント			
1	GAINE Laurent	FRA	
2	DAJKA Jobie	AUS	

100号記念プレゼント!!

2003トラック世界選手権のTシャツを1名の方にプレゼント。

編集事務局までハガキでご応募ください。



チームスプリントの日本チーム

- 3 WOLFF Rene GER
- 8 金子 貴志 JPN
- 永井 清史 1/16決勝敗退
- 長塚 智弘 予選敗退

ケリソ

- 1 GANE Laurent FRA
- 2 DAJKA Jobie AUS
- 3 FORDE Barry BAR
- 6 山田 裕二 JPN
- 吉岡 稔真 1回戦敗退
- 堤 洋 1回戦敗退

スクラッチ (15km)

- 1 MARVULLI Franco SUI
- 2 SASSONE Robert FRA
- 3 VAN ZYL Jean-Pierre RSA
- 19 飯島 規之 JPN

ポイントレース (40km)

- 1 STOCHER Franz AUT 77p
- 2 LLANERAS ROSELLO Joan ESP 74p
- 3 PRONK Jos NED 70p
- 14 飯島 誠 JPN 30p

チームスプリント

- 1 GER 49.957
- 2 FRA 50.071
- 3 GBR 50.442
- 7 JPN (長塚・永井・伏見) 51.369

- 4km個人追抜競走
- 1 WIGGINS Bradley GBR 4:18.576
- 2 ROBERTS Luke AUS 4:19.306
- 3 ESCOBAR ROURE Sergi ESP 4:21.219

4km団体追抜競走

- 1 AUS (世界新記録) 3:57.280
- 2 GBR 4:00.629
- 3 FRA 4:04.119

女子500mタイムトライアル

- 1 TSYLINSKAYA Natallia BLR 34.078
- 2 CONTRERAS REYES Nancy MEX 34.516

- 3 JIANG Cuihua CHN 34.746
- 13 大菅小百合 JPN 35.496

マドイソ (51.4km)

- 1 SUI 13p
- 2 NZL 5p
- 3 ARG 5p

女子ポイントレース (24km)

- 1 SLUSAREVA Olga RUS 27p
- 2 KUBELSKIENE Edita LTU 19p
- 3 GONZALEZ PEREZ Yoanka CUB 16p

女子3km個人追抜競走

- 1 ZIJLAARD-VANMOORSELE Leontien NED 3:32.657
- 2 MACTIER Katie AUS 3:33.784
- 3 SLUSAREVA Olga RUS 3:31.938

女子スクラッチ (10km)

- 1 SLUSAREVA Olga RUS
- 2 GILMORE Rochelle AUS
- 3 VISSER Adrie NED

女子ケリソ

- 1 GRANKOVSKAYA Svetlana RUS
- 2 MEARES Anna AUS
- 3 GRISHINA Oxana RUS

女子スプリント

- 1 GRANKOVSKAYA Svetlana RUS
- 2 TSYLINSKAYA Natallia BLR
- 3 CONTRERAS REYES Nancy MEX



スプリント1/16決勝、8位の金子(左)と永井



アジア選手権・アジアジュニア選手権 強化合宿

7月23から28日、福島県の泉崎に於いて、アジア選手権・アジアジュニア選手権に向けて、トラック及びロードのエリート男女が参加して、強化合宿が行われた。



2003年世界BMX選手権

本年度の世界BMX選手権大会が7月23日から27日まで、オーストラリア・パースにおいて開催された。

日本選手団はワールドチャレンジクラスに出場し、団体では8位と健闘した。

なお、2008年北京オリンピックからBMXが正式種目に採用されることが先月IOCより発表された。



[競技結果]

クラス	名前	予選	予選	予選	1/8	1/4	1/2	決勝
Boys 8	高橋 晃太	岡山	2	3	3		4	7
Boys 10	池田 大暉	新潟	4	4	2		2	7
Boys 11	三瓶 貴公	神奈川	3	3	5		6	
Boys 12	松下 巽	神奈川	1	1	2		5	
Boys 12	鶴飼 守哉	岡山	4	3	5		7	
Boys 13	菊池 雄	神奈川	2	1	1		2	DNF
Boys 13	三瓶 将広	神奈川	1	1	1		1	1
Boys 14	藤沢 雄一	岡山	3	2	2		5	
Boys 14	藤原 海渡	神奈川	4	2	2		8	
Girls 15	三輪 郁佳	広島	5	4	3		6	
Junior Men	黒田 淳	岡山	3	2	3		-	
Men 17+	山崎 洋平	大阪	3	5	6		-	
Men 17+	三浦 進	大阪	1	1	2	2	1	3
Men 17+	福田 純弥	岡山	6	6	5		-	
Men 17+	古屋 孝典	広島	5	6	DNF		-	
Cruiser-12	三瓶 貴公	神奈川	4	4	3		7	
Cruiser-12	松下 巽	神奈川	3	4	3		5	
Cruiser-13/14	三瓶 将広	神奈川	1	3	4		6	
Cruiser-13/14	藤原 海渡	神奈川	7	2	7		-	
Junior Cruiser	黒田 淳	岡山	4	5	5		-	
Cruiser-30/34	宇都宮真紀	広島	4	4	4		7	
Cruiser-40/44	藤原 信彦	神奈川	6	4	4		5	

Junior Women		
1	COOLS Samantha	CAN
2	HAYASHI Kimberly	USA
3	CONVERT Cyrielle	FRA
Junior Men		
1	MATISONS Arturs	LAT
2	LOPEZ Manuel Alejandro	ARG
3	BISELING Sander	NED
Elite Women		
1	AJINCA Elodie	FRA
2	KANIS Willy	NED
3	SCHOCHER Tatjana	SUI
Elite Men		
1	BENNETT Kyle	USA
2	STUMPFHAUSER Randy	USA
3	DE WILDE Robert	NED

登録者の資格審査に係る処分について

平成15年7月15日に行われた本連盟資格審査委員会において、下記競技者の競技者資格に関し、UCIおよびJCF規則に基づき検討した結果、下記の処分を課すことを決定しました。

- 1 事由 福井 敬司(鳥取県31ME972171)は、平成15年6月21日～22日、埼玉県所沢市で行われた第6回全日本自転車競技選手権大会トラックレースにおける男子1kmタイムトライアル後に、検査対象に指定されたにもかかわらず、規則に定められた時間内にアンチドーピング検査室に出頭せず、検査を受けなかった。
- 2 決定 当該者を2003年7月15日より9月14日まで資格停止2ヶ月とし、罰金10,000円を科す。
本連盟に登録する競技者は、登録者規程第1条にあるように、競技規則をはじめ諸規程およびUCI規則を順守しなければならない。特にアンチドーピングについては、本連盟登録者規程第2条に「競技に際して、特にドーピングまたは暴力行為などによりフェアプレーの精神に明らかに違反してはならない。」とあるように、厳しく定められている。
アンチドーピング検査規則においては、検査への不出頭はドーピング行為と同等とみなされる重大な違反行為である。
特に今回は、昨年5月の全日本アマチュア選手権大会時に続く2回目の事例にあたることから、軽微な事例であれば審査を行なうことができるアンチドーピング委員会がこれは軽微な事例にはあたらないとして審査委員会に上申したことを受けて審査したものである。したがって、相当の制裁をあたえるべき事例であるが、所属監督から誤った情報を伝えられるなど考慮すべき事実もあり、また本人も十分反省していることがうかがえるので、特段の情状酌量をもって当該者を2ヶ月間の資格停止とし、さらに罰金を科すことにより、本人の猛省を促すことを決定した。
今回の資格停止においては、いかなる形でも自転車競技に参加することが禁じられていることを理解し、その後、競技に参加するにあたっては諸規則を理解の上、十分に注意して臨むように指導する。
- 3 適用条項 日本自転車競技連盟競技規則第7条、第34条、第35条、第36条および第99条
UCIアンチドーピング検査規則第72条、第127条、第128条および132条

2003ツール・ド・北海道国際大会 参加チームの決定

大学対抗のステージ・レースとして構想され、社会人、地域選抜チームの参加も得て1987年に第1回が開催されたツール・ド・北海道も、1991年より外国チームの参加を得、2000年からは現在と同じくUCIポイントを与えられるクラス5のステージ・レースとして行われています。そして今年も、本連盟と(財)ツール・ド・北海道協会の協議により、外国よりの6チームを含む参加20チームを下記のように決定いたしました。

日程、コースはエコー98号で既報のとおり、9月10日旭川でのプロローグより15日札幌モエレ沼公園の第5ステージまでを道北から道央にかけて行います。また、チーフ・コミセールは昨年に引き続き邱基金氏(中国)に変更になりました。邱氏は本年のジャパン・カップのチーフにも指名されています。

- | | | |
|------------------|--------------------|-----------------|
| 1. 日本大学 | 9. シマノレーシングチーム | 17. カナダ |
| 2. 法政大学 | 10. 愛三工業レーシングチーム | 18. アイルランド |
| 3. 中央大学 | 11. スミタラパネロ パールイズミ | 19. 大韓民国 |
| 4. 立命館大学 | 12. CCDキナン | 20. チャイニーズ・タイペイ |
| 5. 鹿屋体育大学 | 13. ミヤタスパルレーシングチーム | |
| 6. 北海道大学 | 14. 北海道地域選抜 | 補欠: 東北学院大学 |
| 7. 日本舗道レーシングチーム | 15. イラン | ナカガワAS K' デザイン |
| 8. チームブリヂストンアンカー | 16. オランダ | |

SHIMANO

The 100th Anniversary Tour de France
Lance Armstrong
United States Postal Service Team, USA
Wins Fifth Consecutive
Riding New DURA-ACE

DURA-ACE

www.shimano.com

発売時期・価格は、決定次第シマノホームページなどでお知らせいたします。

第35回 ツール・ド・ラビティビ



日本代表選手団は7月19日(土)成田空港を夕方出発し、シカゴ経由で同日現地時間23時にモントリオールに到着。翌20日早朝モントリオールを出発。16時過ぎバルドーに到着し、自転車の整備を行い明日からのレースに備えた。

7月21日(月)

プロローグクリテリウム 7周 15.4km

午前中は、このステージレースのメインコースとなる1周2.2kmのクリテリウムコースで試走を兼ね体をほぐし、ウォームアップを実施。夕方、観衆の前で各チームがステージ上で紹介された。その後の降雨の中行われたプロローグでは、日本選手は無事にケガなくゴール。

7月22日(火)

第1ステージチームタイムトライアル

17.4km

第2ステージクリテリウム 25周

55km

午前中のタイムトライアルは個人総合成績に影響を与えるため、特に気合の感じられるステージになった。日本チームは前日の監督会議で29チーム中23番目のスタート(4分間隔)に決まる。10時28分スタートの日本チームは追い風の影響から序盤から50km/hを超えるハイスピードを維持。途中1名が離脱したものの10位でゴール。目標としたトップテン入りを果たした。

夜に実施されたロードはあいにくの雨天のレース。各チームの様子を見る展開になる。選手自身経験したことの無いハイスピードでのレースになるものの、畑中が途中ポイントを取りに行く積極的な走りを見せる。チーム順位は変わらず。

7月23日(水)

第3ステージロード 115.9km

スタート後、20km付近でクラッシュに

日本チームが現地新聞にとりあげられる



巻き込まれた渡辺が集団から遅れ、結果、タイムオーバーとなり失格となってしまった。長沼が後半、集団を一人で飛び出す積極的な走りを見せた。チーム内では畑中の17位が最高順位。

7月24日(木)

第4ステージ個人タイムトライアル 12.9km

第5ステージロード 83.5km

気温6 という寒さの鉱山地下をスタート地点とする個人タイムトライアルが、午前中に行われた。登りの箇所では各選手とも後輪が泥水でスリップする状況であった。日本勢では村上が、前半オフィシャルバイクが誘導しないハプニングもあったが、順調にペースを守り29位でゴール。ほかの選手も踏ん張りを見せた。

午後のレースでは、半ば過ぎた辺りで日本チーム最高順位の村上がクラッシュに巻き込まれ遅れをとるが、片山のサポートが功を奏し、村上は無事集団に復帰した。最終クリテリウムに畑中がアタックで集団を揺さぶるものの、オランダやフランスチームがコントロールする集団にあえなく吸収された。

7月25日(金)

第6ステージロード 116.4km

本大会の日本チームのスポンサーであるアモス市をスタート地点とするレース。激しい雷雨のために気温が下がる最悪のコンディションであったが、レース後半で各選手とも積極的に好位置をキープしながら畑中、村上、島田らが果敢にアタックを仕掛ける、この日はチーム最高順位の3位に食い込んだ。

7月26日(土)

第7ステージロード

102.7km

レース約50km

地点で片山、島田がクラッシュに巻き込

まれるアクシデントが起こったが、何とか集団復帰。日本選手は前日までの疲れなのか、なかなか先頭グループに加われない状況でクリテリウムに入る。ゴール3km手前で畑中が集団の先頭に出たところ、無念のパンクに見舞われた。

7月27日(日)

第8ステージクリテリウム 32周 70.4km

中盤に集団から数名が幾度も抜け出し、最終的に先頭グループが20名ほどで形成されるが、そこに日本選手団はいない。長沼や島田が果敢にアタックを仕掛けるが、時すでに遅し。有力選手がいなくなったメイン集団に取り残された。

最終日の表彰式では、個人表彰やチーム表彰があり、日本チームは初めて「ナイヤー・エスプリ・デ・キップ賞(最優秀チームワーク賞)」を受賞した。「昨年より1つでも上位にくい込むこと」を目標にして望んだ今大会。他国の選手に圧倒されることなく、最後まで諦めず全力を出し切ったステージレースとなり、日本選手団はひとまわり大きく成長したと感じています。

最後になりましたが、今回の遠征に際し、ご支援いただいた関係各位に御礼申し上げます。(三好 泰彰)

[競技結果]

ブーヴ(15.4km)

1 VAN IJZENDOORN Eddy	NED	22:00
2 CHIOCCA Mathieu	FRA	22:00
3 JAUNET Anthony	FRA	22:00

30 長沼 隆行	JPN	22:00
35 村上 純平	JPN	22:00
51 畑中 勇介	JPN	22:00
52 渡辺 将大	JPN	22:00

第1ステージ(17.4km)

1 VIVES Charly	CAN	20:10
2 LACOMBE Kevin	CAN	20:10
3 TREMBLAY Raphael	CAN	20:10
54 片山 和正	JPN	20:48
55 村上 純平	JPN	20:48
56 島田 真琴	JPN	20:48
57 長沼 隆行	JPN	20:48
58 畑中 勇介	JPN	20:48
159 渡辺 将大	JPN	24:26

第2ステージ(55km)

1 JAUNET Anthony	FRA	1:20:43
2 CHIOCCA Mathieu	FRA	1:20:44
3 REUS Kai	NED	1:20:44
28 片山 和正	JPN	1:20:44
30 村上 純平	JPN	1:20:44
40 長沼 隆行	JPN	1:20:44
53 畑中 勇介	JPN	1:20:44
72 島田 真琴	JPN	1:20:44
100 渡辺 将大	JPN	1:20:44

第3ステージ(115.9km)

1 VAN IJZENDOORN Eddy	NED	2:37:44
2 CHIOCCA Mathieu	FRA	2:37:44
3 ROELANDTS Jurgen	BEL	2:37:44
17 畑中 勇介	JPN	2:37:44
27 島田 真琴	JPN	2:37:44
29 村上 純平	JPN	2:37:44
45 片山 和正	JPN	2:37:44

113 長沼 隆行	JPN	2:37:44
渡辺 将大	JPN	時間切

第4ステージ(12.9km)

1 COZZA Steven	USA	18:21
2 LACOMBE Kevin	CAN	18:34
3 CRANE Matt	USA	18:38
29 村上 純平	JPN	19:41
41 長沼 隆行	JPN	19:58
44 島田 真琴	JPN	20:01
57 畑中 勇介	JPN	20:10
86 片山 和正	JPN	20:43

第5ステージ(83.5km)

1 VAN ROEY Wim	BEL	1:48:15
2 JAUNET Anthony	FRA	1:48:15
3 CHIOCCA Mathieu	FRA	1:48:19
41 畑中 勇介	JPN	1:48:19
42 島田 真琴	JPN	1:48:19
88 長沼 隆行	JPN	1:48:19
93 村上 純平	JPN	1:48:19
151 片山 和正	JPN	1:52:37

第6ステージ(116.4km)

1 REUS Kai	NED	2:44:57
2 CHIOCCA Mathieu	FRA	2:44:59
3 JAUNET Anthony	FRA	2:45:04
10 畑中 勇介	JPN	2:45:04
17 村上 純平	JPN	2:45:04
22 島田 真琴	JPN	2:45:04
35 片山 和正	JPN	2:45:04
36 長沼 隆行	JPN	2:45:04

第7ステージ(102.7km)

1 ROELANDTS Jurgen	BEL	2:16:58
2 VALDEZ Jose C.	MEX	2:16:58
3 CHIOCCA Mathieu	FRA	2:16:58
24 長沼 隆行	JPN	2:17:00
29 島田 真琴	JPN	2:17:00
37 村上 純平	JPN	2:17:00
69 片山 和正	JPN	2:17:06
139 畑中 勇介	JPN	2:21:31

第8ステージ(70.4km)

1 COLLARD Simon	BEL	1:46:15
2 REUS Kai	NED	1:46:15
3 RAND Arthur	USA	1:46:47
26 畑中 勇介	JPN	1:47:34
30 村上 純平	JPN	1:47:34
55 長沼 隆行	JPN	1:47:34
61 島田 真琴	JPN	1:47:34
64 片山 和正	JPN	1:47:34

個人総合成績

1 REUS Kai	NED	13:13:57
2 CRANE Matt	USA	13:14:25
3 COZZA Steven	USA	13:14:38
35 村上 純平	JPN	13:16:54
40 長沼 隆行	JPN	13:17:11
42 島田 真琴	JPN	13:17:14
94 畑中 勇介	JPN	13:21:54
96 片山 和正	JPN	13:22:20

団体総合成績

1 Hot Tubes Cycling Team	39:05:00
2 Etats-Unis Nationale	39:06:16
3 Pays-Bas	39:06:16
12 日本	39:09:43



「シクリズムエコー」100号に想う



杉原 鏘一郎

財団法人 日本自転車競技連盟 顧問

日頃からシクリズム・エコー(注:初期のタイトル)というタイトルを、大変素晴らしいと思っている。名付け親は連盟創立者の北沢清さんである。北沢さんは大阪毎日に勤務、のちに北沢文庫を主宰したことから想像されるように、文才豊かな知識人であった。

数年前のこと、わが家移転のため不要品を整理した際、初期のシクリズム・エコーが見つかり、大変懐かしく感激した。すぐに連盟事務所に持参し、コピーを資料として保管してもらった。

その内容はいずれも私が日本代表として参加した1951年(昭和26年)開催の、第1回アジア大会に関する記事が掲載されていた。第5号は代表選手決定の記事であり、監督は北沢清、選手は立入雄次(法大)、佐藤武夫(栃木)、石川良(高知商)、寺下享(兵庫)、富岡喜平(青森)、補欠に杉原鏘一郎(立大)となっている。このとき小生21才、身長5尺6寸とある。第2候補は太田原慶輔(神奈川)、宇坂照一(香川)、秋山司郎(群馬)、後藤達見(福岡)、岡田治郎(法政二)と代表選手決定を告げるものである。第6号は日米対抗の決定とアジア大会代表の平塚合宿がメインで、代表発表後に寺下選手が競輪選手に転向したため、私は代表選手に繰り上がり、しかもキャプテンとして合宿に参加した。

第7号は日本体育協会(当時は御茶の水駅前にあった)での壮行会。第8号はニューデリー(インド)における競技結果で、全員金メダルの完全優勝の達成。私は1000メートルT.T.1分20秒2の日本新で優勝(それまでの日本記録は小暮功(群馬)1分23秒8)。手柄話はこれぐらいで話は本題にもどる。第5号は昭和26年1月1日発行であることから、創刊は昭和25年(1950年)9月であったことが類推される。そして1955年頃まで継続されたが、北沢清さんが国会議員に立候補するため連盟副会長をやめシクリズム・エコーの発行が中断される。私はそれを大変残念に思い、機会があれば再発行したいと考えていた。当時の連盟運営の資金の多くは寄付金のため、一番のネックは資金を確保することにあった。親友であった水野誠一さん(前出の北沢文庫勤務・後楽園勤務)と相談し、苦心の末、発行できるだけの年間契約の広告を確保することに成功して、念願の復刊にこぎ着けることが出来た。これが1959年(昭和34年)頃のことである。3年くらい発行した記憶があるが、この時のエコーは1部も残っていない。

北沢さんが去った連盟の運営は必ずしも安定したものではなかった。シクリズム・エコーの発行についても、一部の人間から学連関係の記事が多いなどのクレームが出るようになった。私と水野さんはまったくの手弁当でやっていることであり、その他の事情もあって余儀なく発行を中止した。その後数年して月岡副会長が再発行したがこれも長く続かなかった。

斯くして絶えて久しかったシクリズム・エコーは、1992年(財)日本アマチュア自転車競技連盟広報委員会の所管でタイトルを改め「シクリズムエコー」第1号として再刊され、1995年アマ・プロの統合により(財)日本自転車競技連盟の機関誌として今日に至っている。

2003年B世界選手権大会



男子ロードのスタート



男子ロード選手団

本誌前号(99号P.9)速報で既報のとおり、女子500mタイムトライアル1枠と、男子個人ロードレース2枠の出場枠を獲得(ロードは最終的には2004年4月30付UCI国別ランキングにて決定)した。今号では男子ロードレースのレポートをお伝えする。

〔男子個人ロードレース〕

2004年アテネオリンピック参加枠取りの大会は、過去最高の62ヶ国と約360名の競技者が参加し、スイス・エーグルで開催された。

7月6日快晴の中、44ヶ国(1ヶ国6名)最終エントリー172名がスタート。1周16.8km×9周(151.2km)高低差150m、緩い上り坂を3kmほど登り、細い急坂を下るコースで行われた。

スタート時間が午後1時のため、気温が上昇し、暑さが選手を苦しめる。参加選手のレベル格差が大きいため、1周目から遅れる選手が続出する。

日本チームは1周目から積極的にアタックを試み、常にメイン集団でレースを展開。5周目に福島を含む4名の選手が集団から抜け出し、30秒差で逃げ切りを図るが、メイン集団に取り残されたアイルランドの選手がラインを作り追走。福島はメイン集団に吸収され振り出しに戻る。

集団からのアタックはなかなか決らず、ラスト2周回、田崎、田代を含む8名が集団から飛び出し、スタート地点通過でメイン集団に15秒差をつける。

国別ランキング上位の国で占めた8名に、ブルガリアの選手が1人追いつき9名となったトップ集団は一気に加速し、鈴木を含む8名の第2集団に40秒差をつけ逃げる。

ラスト周回に入ったトップ集団は、

上り坂で4名となり、岡崎と田代は惜しくも引き離されてしまい、4名のゴール勝負となった。ラスト200m手前から先行した、Fischer Murilo(ブラジル)が先着し優勝。岡崎7位、田代はラスト3kmパンクで遅れ9位。第2集団で追走していた鈴木は16位でゴールした。

ラスト周回で遅れた岡崎は、1周回目パンクし集団に追いつくため力を消耗してしまい、逃げの集団にはいるだけで一杯だったが、オリンピック参加枠確保の15位まで2名が入り参加最大枠2名枠を獲得した。

選手一丸となり終始積極的なレース展開で獲得した結果は、必ずやオリンピックでの活躍に繋がるものであり、B世界選手権日本選手団の派遣に際し、最大の6名のロード競技選手を派遣していただいた連盟に感謝いたします。

(強化コーチ 高橋松吉)



女子個抜4位の太塚

女子スプリント
銀メダルの太刀川

〔競技結果〕(7/5-9スイス・エーグル)

男子個人ロードレース(151.2km)

1	FISCHER Murilo	BRA	3:42:43
2	STEVIC Ivan	YUG	3:42:44
3	MCCANN David	IRL	3:42:45
7	岡崎 和也	JPN	3:43:25
9	田代 恭崇	JPN	3:43:51
16	鈴木 真理	JPN	3:45:01
29	福島 晋一	JPN	3:49:18
30	広瀬 敏	JPN	3:49:18
47	狩野 智也	JPN	3:56:04

女子500mタイムトライアル

1	大菅小百合	JPN(日本新)	35.709
2	KIM Sun Yi	KOR	36.727
3	TRI KUSUMA Santia	INA	37.517

女子スプリント

1	RADANOVA Evgenia	BUL	
2	太刀川麻也	JPN	
3	LEE Min Hye	KOR	
4	大菅小百合	JPN	

女子個人追抜競走

1	THUERIG Karin	SUI	追抜勝
2	GARCIA Evelyn	ESA	OVT
3	WASSERMAN Anel	RSA	3:51.902
4	太塚 歩	JPN	3:52.683

女子500mタイムトライアル

1	HAN Song Hee	KOR	26p
2	MUZIZAH Uyun	INA	19p
3	TRI KUSUMA Santia	INA	16p
8	太塚 歩	JPN	5p



500mTT日本新記録で金メダルの大菅

競技大会 結果

チーム名等については略して記載

2003 JCFMTB ジャパンシリーズ

J1 DH#3 XC #5

(7/12-13 秋田・田沢湖畔(場))

XC男子17.1 (33.2km)

- 1 色川 浩樹 茨城 GIANT J. 2:06:46.09
- 2 山口 孝徳 長野 MX/MON 2:07:06.62
- 3 竹谷 賢二 千葉 FORD/SP2:07:56.54
- 4 野口 忍 京都 TREK J. 2:11:17.11
- 5 堂城 賢 北海道 G.FISHER 2:14:32.47
- 6 小笠原崇裕 長野 G.FISHER 2:15:07.25
- 7 辻浦 圭一 奈良 プリンス 2:15:56.02
- 8 山本 和弘 北海道 キャノン 2:16:06.96
- 9 松本 駿 長野 GT 2:16:22.52
- 10 広瀬 允 千葉 CWS 2:16:28.33

XC女子17.1 (24.9km)

- 1 南部 博子 福岡 TREK J. 1:54:57.83
- 2 中込由香里 長野 SY-Nak 2:01:36.88
- 3 高橋いづみ 東京 SY-Nak 2:03:23.73
- 4 田崎 綾 千葉 2:05:28.17
- 5 田近 郁美 岐阜 GOD HILL 2:17:57.25
- 6 中口 裕代 長野 Commenca -1lap
- 7 内田 順子 東京 SY-Nak -1lap
- 8 佐藤 百江 東京 SY-Nak -1lap
- 9 榎本 梨絵 岡山 Be-One -1lap
- 10 菅原 亮香 岩手 LAVENDE -2laps

DH男子17.1 (1.8km)

- 1 竹本 将史 埼玉 プリンス 3:06.210
- 2 冨田 秀治 埼玉 MX/MONG 3:07.300
- 3 高橋 唯之 福島 G CROSS 3:07.682
- 4 鍋島 健一 福岡 プリンス 3:08.210
- 5 内嶋 亮 東京 A&F SANT 3:08.526
- 6 栗瀬 裕太 大阪 TREK 3:08.643
- 7 井手川直樹 広島 G cross 3:11.327
- 8 金子 大作 北海 mom&pop's 3:12.034
- 9 大島 礼治 兵庫 MTBmagazine 3:12.823
- 10 和田 良平 大阪 INTENSE J.3:13.043

DH女子17.1 (1.8km)

- 1 猪俣 浩子 神奈川 FOES/CRE 3:38.964
- 2 増田 まみ 千葉 GIANT J. 3:56.445
- 3 鴨下 美穂 神奈川 TECH IN 3:59.434
- 4 池田 恭子 東京 キャノン 4:15.443
- 5 服部 良子 神奈川 風魔横浜 4:18.055
- 6 大西 雅美 兵庫 YRS-ANC 4:21.099
- 7 佐藤由布子 神奈川 SY-Nak 4:41.481
- 8 及川 由希 岩手 EXTREME 4:59.888
- 9 菅原 亮香 岩手 LAVENDE 5:31.793

第37回西日本実業団サイクルロードレース大会

(7/13 広島・中央森林公園)

BR-1 (110.7km)

- 1 阿部 良之 JPCA 沢ノ 2:57:31.006

- 2 狩野 智也 JPCA 沢ノ 2:57:31.193
- 3 今西 尚志 京都 沢ノ 2:57:31.485
- 4 飯島 誠 JPCA 沢ノ 2:58:43.119
- 5 三船 雅彦 JPCA ミヤノ 2:59:14.089
- 6 田中 光輝 愛知 愛三工業 2:59:28.702
- 7 秋田 謙 愛知 愛三工業 3:00:30.903
- 8 鈴木 真理 JPCA 沢ノ 3:00:32.141
- 9 広瀬 学 石川 CCD村ノ 3:00:38.888
- 10 二戸 康寛 東京 なるしま 3:00:45.685

BR-2 (61.5km)

- 1 杉 大輔 兵庫 加ノ JAS 1:38:23.105
- 2 荒木 就平 鹿児島 BALBA 1:38:28.144
- 3 寺本 道彦 島根 べノ 1:38:35.147
- 4 中島 康晴 福井 BALBA 1:38:41.431
- 5 池田 丈志 奈良 BALBA 1:38:54.164
- 6 宮下 星児 東京 自在 1:38:54.788
- 7 数元 彰 大阪 Sakatani 1:38:55.616
- 8 郷右近智久 東京 なるしま 1:38:56.126
- 9 真鍋 英祐 山口 NEX 1:38:56.135
- 10 入江 克典 大阪 沢ノ村ノ 1:38:56.195

BR-3 (36.9km)

- 1 LUIS ALBERT 静岡 VIVACE 1:00:46.399
- 2 曾田 晴夫 島根 べノ 1:00:47.429
- 3 松山 将嗣 静岡 SPADE-A 1:00:47.528
- 4 神田 崇 兵庫 POLPO 1:00:47.696
- 5 横山 弘樹 岡山 ナム岡山 1:00:47.743
- 6 服部 健一 大阪 Sakatani 1:00:48.018
- 7 中田 尚志 京都 NEX 1:00:48.156
- 8 岩藤 司朗 山口 CCM 1:00:48.388
- 9 加藤 和茂 愛知 SENSATION 1:00:48.619
- 10 内藤 泰志 東京 マリアノ 1:00:49.765

女子 (36.9km)

- 1 石井 麻美 東京 なるしま 1:08:16.077
- 2 坂田 佳子 兵庫 POLPO 1:09:38.222
- 3 中山 朋子 神奈川 沢ノ 1:10:45.445
- 4 酒井 真清 大阪 Testach 1:10:58.318
- 5 岡野 尚美 静岡 SPADE-A 1:11:27.964
- 6 狩俣けい子 大阪 Testach 1:11:59.428
- 7 伊与田尚加 静岡 ミノ 1:12:33.755
- 8 濱田 真子 東京 沢ノ 1:13:18.837
- 9 加藤 紀衣 大阪 PCCC 1:14:43.182
- 10 伊藤真理子 大阪 Testach 1:16:14.695

2003 JCFMTB ジャパンシリーズ J1 XC #6

(7/26-27 長野・白馬さのさか)

XC男子17.1 (43.2km)

- 1 山口 孝徳 長野 MX/MON 2:15:40.01
- 2 竹谷 賢二 千葉 FORD/SP2:17:14.91
- 3 宇田川聡仁 長野 プリンス 2:20:11.75
- 4 白石 真悟 大阪 沢ノ村ノ 2:23:44.20
- 5 野口 忍 京都 TREK・J. 2:25:13.42
- 6 辻浦 圭一 長野 プリンス 2:26:29.78
- 7 江下健太郎 愛知 愛三工業 2:26:38.09
- 8 湯本 優 千葉 ツノ 2:27:31.02
- 9 山本 和弘 北海道 キャノン -1lap
- 10 笹部 勝 大阪 キャノン -1lap

XC女子17.1 (27.0km)

- 1 榎本 梨絵 岡山 Be-One 1:48:47.29
- 2 中込由香里 長野 SY-Nak 1:48:48.42
- 3 酒井 真清 大阪 Testach 1:55:41.16
- 4 深井 薫 大阪 G.FISHER 1:59:57.34
- 5 狩俣けい子 大阪 テノヨR 2:00:10.52
- 6 田近 郁美 岐阜 GOD HILL 2:06:03.31

- 7 長井 美香 京都 FUN RIDE -1lap
- 8 内田 順子 東京 SY-Nak -1lap
- 9 伊藤真里子 京都 TEAM 川ノ -2laps
- 10 池田 桂子 大阪 川ノ 川ノ -2laps

第44回全日本学生選手権

(7/26-27 愛知・豊橋競輪場)

男子17.1

- 1 朝倉 佳弘 東京 放送大学
- 2 丸尾 哲司 千葉 順天堂大学
- 3 柴崎 俊光 三重 中央大学
- 4 小堺 浩二 石川 京都産業大学
- 5 水野 悟志 静岡 法政大学
- 6 花澤 純二 千葉 明治大学

男子1kmタイムトライアル

- 1 竹沢 浩司 富山 日本大学 1:08.170
- 2 川村 崇 東京 早稲田大学 1:08.375
- 3 前田 吉昭 石川 日本大学 1:09.576
- 4 西村 行貴 熊本 日本大学 1:09.916
- 5 桜井 太士 鳥取 中央大学 1:10.428
- 6 西村 尚文 鹿児島 法政大学 1:10.912

男子4km個人追抜競走

- 1 伊藤 太一 山梨 日本大学 4:54.552
- 2 高島 豪 埼玉 中央大学 4:57.037
- 3 石田 宏樹 青森 法政大学 5:01.918
- 4 岡田 将太 茨城 法政大学 5:04.877
- 5 吉田 将成 岐阜 日本大学 5:00.978
- 6 明珍 周兵 福島 法政大学 5:02.027

男子100m

- 1 盛 一大 茨城 日本大学 29p
- 2 鈴木 謙一 静岡 法政大学 29p
- 3 柴田 祐也 岐阜 法政大学 22p
- 4 櫻井 透 神奈川 立命館大学 20p
- 5 片山 智晴 岡山 法政大学 14p
- 6 明珍多久雄 福島 日本大学 14p

男子1000m

- 1 鈴木雄一朗 山梨 日本大学
- 2 屋良 朝春 沖縄 日本大学
- 3 小野木一仁 岐阜 法政大学
- 4 加藤 愛彬 山口 法政大学
- 5 山我 宗永 埼玉 北陸大学
- 6 和田 健次 岐阜 東北学院大学

男子1000mタイムトライアル

- 1 日本大学 前田・西村
- 2 法政大学 加藤・菅井
- 3 日本大学 糸賀・鈴木
- 4 東京大学 高月・中田
- 5 東北学院大学 和田・小倉
- 6 明治大学 古川・齋藤

男子1000m

- 1 日本大学 明珍・盛 53p
- 2 日本大学 伊藤・吉田 (-2) 14p
- 3 法政大学 柴田・室井 (-3) 19p
- 4 日本大学 小笠原・普久原 (-3) 3p
- 5 明治大学 盛・立里 (-5) 13p
- 6 日本大学 青木・秋山 (-5) 8p

女子17.1

- 1 遠山 恵 岩手 順天堂大学
- 2 仁藤ひろみ 静岡 明治大学
- 3 伊東 静香 宮城 明治大学
- 4 伊藤 史子 三重 順天堂大学
- 5 加藤 尚恵 埼玉 日本体育大学

女子500mタイムトライアル

1	松永 舞美	香川 法政大学	40.156
2	仁藤ひろみ	静岡 明治大学	40.664
3	伊東 静香	宮城 明治大学	41.205
4	遠山 恵	岩手 順天堂大学	41.524
5	梅野 敦子	京都 同志社大学	41.623
6	田島 理江	福島 日本体育大学	42.049

女子3km個人追抜競走

1	齋藤 綾	秋田 順天堂大学	4:18.108
2	松永 舞美	香川 法政大学	4:18.753
3	中村 珠藻	奈良 順天堂大学	4:19.13
4	梅野 敦子	京都 同志社大学	4:32.67
5	青木千江子	群馬 前橋育英短	4:33.470
6	小野 翔子	栃木 明治大学	4:50.527

女子ポイントレース

1	松永 舞美	香川 法政大学	35p
2	齋藤 綾	秋田 順天堂大学	23p
3	中村 珠藻	奈良 順天堂大学	19p
4	梅野 敦子	京都 同志社大学	-11p
5	伊藤 史子	三重 順天堂大学	-19p



2003ジャパンカップ「オープンレース」参加者募集のお知らせ

期 日 平成15年10月25日(土)
前日(24日)に受付・ライダーズミーティングあり
会 場 宇都宮市森林公園周回コース
女子：42.3km (14.1km × 3周)
男子：80.8km (14.1km × 5周 + 10.3km × 1周)
問合せ 栃木県自転車競技連盟
〒321-0342 栃木県宇都宮市福岡町1178番地
TEL: 090-4374-1640 FAX: 028 652 5053
URL: <http://www.japancup.gr.jp/>

第15回「ツール・ド・おきなわ2003」参加者募集のお知らせ

期 日 平成15年11月8日(土)・9日(日)
会 場 沖縄県北部圏域 やんばる)
問合せ NPO法人ツール・ド・おきなわ協会
〒905-0014 沖縄県名護市港2-1-1(名護市民会館2F)
TEL: 0980-54-3174 FAX: 0980-54-3169
URL: <http://www.tour-de-okinawa.jp/>

23thアジア選手権・10thジュニアアジア選手権速報!! (8.11現在)

男子エリート個人ロード	1位 鈴木 真理	2位 野寺 秀徳
女子ジュニアロードT.T.	1位 永田 萌子	
男子ジュニアポイントレース	1位 竹山 陵太	
男子エリート1kmT.T.	1位 井上 昌己	

詳しくは次号で!



日本新記録

500m	女子シニア	35 秒 496	大菅 小百合 (長野・三協精機)	2003/7/31	ドイツ・シュツットガルト
2km	女子ジュニア	2 分 39 秒 177	萩原麻由子 (群馬・伊勢崎女子高校)	2003/8/10	大韓民国・昌原
4km 団体追抜競走	男子プロ	4 分 18 秒 486	日本 (内田、佐々木、西谷、黒木)	2003/8/11	大韓民国・昌原

連盟の動き (7月中旬～8月中旬)

- 7月15日 第3回常務理事会、第1回資格審査委員会
- 19日 ツール・ド・ラビティビ選手団出発 於：カナダ (帰国 7/30)
- 20日 第1回MTB小委員会 於：石川・瀬女
トラック世界選手権強化合宿 於：福島・泉崎 (~ 24日)
- 23日 アジア選手権強化合宿 於：福島・泉崎 (~ 28日)
- 8月 1日 アジア選手権ロード選手団出発 於：大韓民国・昌原 (帰国 8/8)
- 6日 アジア選手権トラック選手団出発 於：大韓民国・昌原 (帰国 8/14)
- 12日 第2回総務委員会

事務局人事

7月31日付
選手強化部参事
今井 弘明 退職



シクリスムエコー No.100 2003年8月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟
発行人/岩 楯 昭一
編集人/加藤 昭
編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟 事務局
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内
TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508
URL <http://www.jcf.or.jp/>

JCF協賛スポンサー



存在として美しいか、否か。



PHOTO: 2.0GT (オプション装着車)

耳障りなノイズか、心に響くサウンドか。

数値や言葉で表現できなくとも、その間には確かな一線がある。

新しいレガシィはそんな感性の領域へと踏み込み、

エンジンが奏でる音にまで美しさを求めた。

めざしたのは、あなたと感動を語り合えるクルマであること。

走り出した瞬間から、感じるものがある。深く触れ合うほどに、歓びが生まれる。

それが、「Grand Touring Specialty」という新しいコンセプト。

ステアリングを握って、レガシィとの時間を重ねるだけでいい。

このクルマの存在は、きっと、あなたの中で美しいものになってゆく。

Grand Touring Specialty
LEGACY
TOURING WAGON

世界に先駆けて日本デビュー

2.0GT: 2.0BOXER DOHC 16VALVE DUAL AVCS TWIN SCROLL TURBO [SPORTSHIFT E-5AT/5MT] AWD [主要装備] ○HIDプロジェクターロービームランプ
○アルミ製フロントフード&リヤゲート○215/45R17タイヤ&17インチアルミホイール○MOMO製本革巻ステアリングホイール○エレクトロルミネセントメーター○運転席8ウェイ
パワーシート○LEGACYプレミアムサウンドシステム○ビルシュタイン製ダンパー(フロントは倒立式)○ベンチレーテッドディスクブレーキ(フロント17インチ2ポット&リヤ15インチ)
○大径ツインマフラー○EBD付ABS○フロントアクティブヘッドレスト○デュアルSRSエアバッグ○SRSサイドエアバッグ+カーテンエアバッグ(メーカー装着オプション)○イモビライザー

新しいレガシィについて、あなたにもっと語りたいことがあります。

www.subaru-LEGACY.jp